

東日本大震災からの復興支援

水産総合研究センターは、震災直後から漁場や資源状態の調査、被災県の

種苗生産への協力、がれき除去、漁港漁村の復興や防災機能強化の技術支援

などに努めてきました。これからも、引き続き地元の要請に配慮して、さまざまな活動に精一杯取り組んでいきます。

また、岩手県や宮城県とともに、養

殖技術や加工技術の開発などにも取り組んでいます。

魚介類中の放射性物質は、震災直後から水産庁の要請も受けて詳細な

分析を実施しています。いまだに、一部の魚種では突発的に高い値を示す魚が採集されることもあり、引き続き調査し、水産物の安全性を確かめていきます。



サケふ化場の井戸の調査
(岩手県野田村の下安家ふ化場)



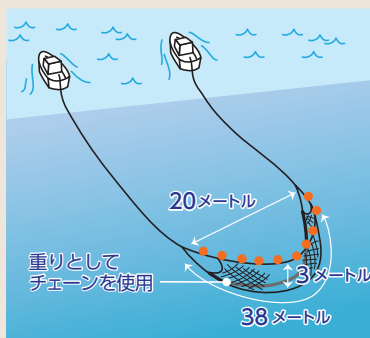
マガキ浮遊幼生の採集



水産工学研究所によるがれき調査

効率的ながれき除去

当センター、宮城県、地元漁業者、東北大学が協議して作った、海底のがれきを効率的にとれる平らなタオルのような「タオル網」が利用されています。



◀ がれきの回収方法
▼ 試作したタオル網

